

事故予防

～ヒヤリハットを拾う～

社会福祉法人サン・ビジョン
グループホームジョイフル布袋
(愛知県江南市)

職種・発表者：ハウスマネージャー
猿渡 寛美



施設紹介

- グループホームだけでなく特別養護老ジ-ホーム、デイサービス、居宅介護支援事業所を併設。
- 在宅サービスから入所サービスまで「トータルサポート」できる地域の拠点



サンサンスタイル



取り組んだ課題

事故予防

- 安心、安全な生活を送って頂く上で事故予防は重要。

ハインリッヒの法則

- 重大事故の背景には29件の軽微な事故、300件のヒヤリハットが存在。

ヒヤリハットが少ない

- ヒヤリハットが一月に3件しかあがらない。



ハインリッヒの法則

重大事故

29件の軽微な事故

300件のヒヤリハット



取り組んだ課題

事故予防

- 安心、安全な生活を送って頂く上で事故予防は重要。

ハインリッヒの法則

- 重大事故の背景には29件の軽微な事故、300件のヒヤリハットが存在。

ヒヤリハットが少ない

- ヒヤリハットが一月に3件しかあがらない。



倫理的配慮

行動を制限しない

- 対策を検討するときは行動を制限しない。

利用者の視点

- 職員の視点でなく、利用者の視点で考える。

批判しない

- ヒヤリハットを拾う意識付が重要である。内容を批判しない。



具体的な取り組み ～ヒヤリハットを拾えない要因～

何がヒヤリハットかわからない

- そもそもヒヤリハットが何かわからない。

ヒヤリハットの書き方がわからない

- PC操作、文章を書くことが苦手

ヒヤリハットを記録することを忘れる

- 日々の業務に追われ、忘れてしまう。意識付できていない。



具体的な取り組み ～対策～

何がヒヤリハットかわからない

- ヒヤリハットの事例を数多く、例示する。

ヒヤリハットの書き方がわからない

- 記入方法を統一する。エクセルから電子カルテへ。

ヒヤリハットを記録することを忘れる

- 日常の記録として習慣化する。



活動の成果と課題

3件 → 90件

- 一月のヒヤリハット件数が90件に増加

意識の変化と教育

- 申し送り時にヒヤリハットの報告があがる。その場でフィードバック。

事故減少に一定の効果

- 実施期間が短いですが、この間事故が発生していない。



今後の課題と考察

拾うことがゴールでない

- 拾うことは意識付できた。その先が重要。

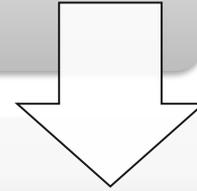
分析し、より具体的な予防に繋げる

- 詳細な分析を行い、具体的な予防策につなげる。

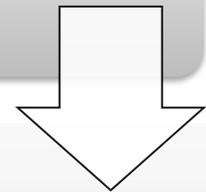


まとめ

ヒヤリハットを拾う



背景を考える



利用者を知る



ご清聴、ありがとうございました



サンサンスタイル

